

第9回品川区長期基本計画策定委員会 議 事 概 要

日時：平成20年12月25日 14:00～15:00

場所：品川区役所 議会棟6階 第一委員会室

1. 開会

2. 委員長挨拶

- ・基本構想の策定検討の開始から2年、長期基本計画の策定検討の開始から9ヶ月間、委員の方々には審議にご協力いただいた。
- ・本日は、前回ご指摘いただいた点を踏まえ、再度、学識会議および事務局で表現等の検討を行った長期基本計画素案（案）について、区長に答申を行うことを予定している。

3. パブリックコメントおよび品川区長期基本計画素案（案）について

■事務局

- ・資料3「長期基本計画素案（案）へのパブリックコメント」では、複数分野に関する意見については分割しそれぞれ該当箇所に掲載している。
- ・パブリックコメントとしていただいたご意見への対応については、前回委員会でいただいたご指摘を踏まえ、表現に厚みをもたせた。
- ・資料4「長期基本計画素案（案）」についても、前回委員会以降に修正を行った箇所が分かるようにしている。また、本素案をもって答申案とすることについて、学識委員の方から了承を得ている。

4. 答申

（青山委員長から濱野区長へ長期基本計画素案を答申）

■濱野区長

- ・長期間にわたり長期基本計画の策定に向けたご議論にご協力いただき、心から御礼申し上げます。
- ・国には基本構想や長期基本計画にあたるものはない。強いて言えばそれは憲法になるが、憲法には具体的に実施すべき施策の方向性に関する定めはない。また、各省がそれぞれ計画を策定しているが、それらのなかには相互に整合性が取れていないものもある。
- ・品川区では、公募区民の方々を含め様々な分野の方が参加し、幅広い観点からご議論いただき基本構想、長期基本計画の策定をすすめてきた。このことは今後の品川区の強みになると考えている。
- ・今後、この長期基本計画を誠実に実行することが使命であると考えている。

5. 懇談

■委員

- ・ 連合町会としても、今後もできるだけ応援・協力していきたいと考えている。

■委員

- ・ 本委員会には若い委員の方も参加し、社会福祉等についてともに議論ができた。
- ・ 長期基本計画を実践し、より良い品川、住みやすい品川にしていっていただきたい。

■委員

- ・ 青少年対策地区委員会では、子どもたちの健全な育成をバックアップするために活動している。これからも引き続き、区民の方々の支援を受け活動を行っていきたい。

■委員

- ・ 本委員会には、男女共同参画推進会議を通じて参加させていただいた。
- ・ あらゆる分野において、男女共同参画の推進に向けた取り組みの進展を期待している。
- ・ 社会が複雑になり、また、人々のニーズが多様化していることを踏まえ、これからは縦割り行政では対応することが難しい課題も増えてくると思われるが、今後も区政を支援していきたい。

■委員

- ・ 基本構想、長期基本計画の策定に携われたことに感謝している。本委員会に参加し、品川区が今以上に好きになることができるという自信が持てたとともに、そのような人を増やしていきたいと思うようになった。
- ・ 多種多様な区民ニーズに応えるため、長期基本計画はアラカルトのような意味合いも強いと思うが、今後、実施計画において、どのように優先順位をつけ予算配分を行うのか、また、長期基本計画の内容を区民の目に見える形にしていだけるのか見守りたい。
- ・ 教育分野では、教育を受けるチャンスの確保や格差を正す取り組みを行っていただきたい。
- ・ 最近、派遣社員の契約解除に関する話を耳にするが、区民が平等に幸せな生活をおくることができる実感が持てるような税金の使われ方がなされると良いと思う。

■委員

- ・ 荏原第三地区の連合町会として、「町会に入ろうよ」というパンフレットの作成を行うことになったのも、本委員会の議論が契機であると思う。
- ・ 区の助成を受けて、地区の協働事業を継続的に行っていきたい。
- ・ 孫も輝く笑顔で暮らすことができる品川区に向け、協力していきたいと思う。

■委員

- ・ 本委員会には、子育てに関する当事者の感覚を伝えるため参加させていただいた。
- ・ 学校は新たな制度が導入され過渡期にあるが、逆に、保護者の目は学校に向くようになっている。

- ・住み続けたいまちという観点は重要であり、このことをいつも忘れずに活動を行っていききたい。

■委員

- ・今回、公募委員として参加させていただいた。これからも若い世代の意見を政策決定に取り入れていただきたい。

■委員

- ・長期基本計画の答申がなされたが、これからが勝負であると考えている。
- ・地方分権とは何かということを再度考えるべきであると思う。また、守るべきこと、変えなければならないことを議論するべきであるとも思う。自己責任を含め、区民に言わなければならないことをきちんと伝えなければならないと考えている。
- ・計画のローリングの期間を含め、より良い区民サービスをどのようにすれば行うことができるのか、今後も議論を行うことが必要であると思う。

■委員

- ・今後の品川区のためにも、議員として総合実施計画の実施について、しっかりとチェックをしていきたいと思う。

■委員

- ・長期基本計画の実施に向け、これからも議員としてしっかりと役割を果たしていきたいと思う。
- ・その時々を経済状況に応じてやらなければならないこと、また、今回のパブリックコメントでは上がってこなかった声にならない声があるかもしれない。そのため、そのような点についても目を向けて取り組んでいきたい。

■委員

- ・パブリックコメントでも福祉に関する要望は多く寄せられており、長期基本計画ではもっと福祉について厚みを持たせるべきであったと思う。また、特別養護老人ホームについては、増設の目標値を記載する必要があると思う。その点から、この修正案で良いとは思えない。
- ・現在、保育分野では認証保育園がサービスの柱になっており、区には認可保育園の増設を行っていただきたい。
- ・住宅分野では、行政が住宅供給を行わなければ区民が今後も品川に住み続けることは難しく、構想や計画が絵に描いた餅になってしまう恐れがあると思う。
- ・都市計画道路について、区民からは反対の声があがっており、計画ではこれらの声が無視されているように思う。
- ・環境問題の分野では、サーマルリサイクルは現在の環境問題に関する取り組みに逆行するものであると思う。
- ・教育分野では、30 人学級をめざすことを計画に明記すべきであったと思う。また、学校選択制は区民の評判が悪いため、見直しを図るべきであると思う。

- ・基本構想では国際都市を掲げているが、福祉の面で世界のトップをめざすことが重要であると思う。

■委員

- ・基本計画はある意味で素材集のような面もあるが、今後、いかに区民に伝え、ともに実行していくかということが大切であると思う。
- ・近年、社会貢献意識や人の温かさは社会の原動力として、重視されるようになってきている。区民の社会貢献意識を行政も重視し、計画の実施につなげていってもらいたい。

■委員

- ・本委員会には、しながわシニアネットという比較的新しい団体を代表し参加させていだいた。
- ・今後 10 年のなかで計画内容の微調整や方向転換も必要になると思われるが、品川区民として、計画に記載された内容は是非とも実現してもらいたいと考えている。

■委員

- ・本委員会には発達障害児の自立支援を行う団体関係者として、参加させていただいた。
- ・長期基本計画 p 88 の図のタイトルに、発達障害者支援センターという名称が入らなかったことは残念であると思う。

■委員

- ・昼間区民の立場から議論に参加させていただいた。今後は、職場から地元に対して何かできることはないか考えていきたい。

■委員

- ・世の中が大変になるほど、行政のきちんとした舵取りに対する期待は大きくなる。
- ・長期基本計画を生きた計画にするためには、計画内容とともに、今後の実行プロセスが重要になる。魂を込めた行政づくりに取り組み、品川のまちのコーディネートを行っていただきたい。

■委員

- ・住居や健康の問題等、高齢者の生活不安は高まってきている。
- ・長期基本計画が絵に描いた餅にならないよう努力していただきたい。

■委員

- ・区長以下、行政職員や区民が信念や役割を共有し、品川区をより良くしていくために取り組んでいくことが重要であると思う。

■委員

- ・福祉と教育に強いしながわというイメージを構築していくことが良いと思う。
- ・今後も、商店街が地域のプラットフォームであるよう努力していきたい。

■委員

- ・隣人や道を歩く人に声をかける等を通じて、一人ひとりの思いがつながりをもっていくのではないかなと思う。

- ・自分が喜ぶことは何かということを念頭に、一人ひとりが笑顔になるための活動を行っていききたい。

■委員

- ・中小企業の集まりである商工会議所では、特に、顧客への接し方等、社員教育を重視しており、そのことは地域への貢献にもつながっているのではないかと思います。
- ・品川区の中小企業は、自分たちができることは自分たちでやるという思いが強く、そのことが品川の商工会議所の活力にもなっている。
- ・今後も、会社としてできるだけ品川区に役立つことをしていきたい。

■副委員長

- ・本委員会に参加し、委員の元気の良さや意見の多様性には驚いた。そのため、意見の調整や重点項目の絞り込みを行うことは大変であった。
- ・長期基本計画を実行に移すプロセスが重要であり、区民参加の進行管理のあり方を検討する必要がある。

■委員長

- ・品川区は都内でも規模が大きく、その動向が目をはく区でもある。
- ・近年、昼間人口が増加し都市的な地域でもあるが、一方で、住み続けたい地域づくりを掲げていることも特徴的である。
- ・市民参加に関連し、税制改正により、来年度から寄付に対する個人住民税の減税が大幅に拡充される。国税庁が指定した団体への寄付のみがその対象となるという限界もあるものの、品川区への寄付については、住民税の減税措置を受けることができるようになっている。
- ・幅広い区民が参加し、幅広い観点から議論が行われた長期基本計画には、その策定プロセスにも特徴があったと思う。
- ・今後、長期基本計画の内容を個別の政策として全国に発信していくことも重要である。

■濱野区長

- ・委員の方々のご発言を聞き、長期基本計画を自分の計画とみなし関わっていただいていたことを実感した。
- ・若いうちは区の行政サービスとあまり接点がないかもしれないが、歳をとったときに、サービスを実感してもらえよう、しっかりと区政運営を行っていききたい。
- ・今後、長期基本計画の内容を具体化し、予算をつけてしっかりと事業化していきたい。
- ・区民の行政への市民参加には様々な形があると思うが、寄付や地方債の購入等、財政的な面からの参加もありうると思う。今後、様々な寄付の受け皿の設置等を検討していきたいと思う。

6. その他

- ・長期基本計画の冊子に財政計画や写真等を添付し、来年3月上旬をめどに作成すること

を予定している。

7. 閉会

以上